

## 空き家活用セミナー（美濃市） 報告

日時	平成 29 年 2 月 25 日（土曜日） 13:30~15:00
場所	美濃市中央公民館
内容	下記詳細

### <行事>

◇日時：平成 29 年 2 月 25 日（土曜日）13:30~15:00

◇場所：美濃市中央公民館 学習室

◇主催：美濃市 NPO 美濃のすまいづくり

◇題目：「空き家は困るが役に立つ」

講演者：名和泰典（岐阜県空家等総合相談員・空き家相談士）

### <報告>

25 日の美濃市空き家利活用セミナーにて下記にて報告いたします。

前述した場所・時間にて予定どおり空き家利活用セミナーを開催いたしました。

セミナー参加者については 13：00 頃より来場いただき開始となる 13：30 には会場がほぼ満席になる状況でありました。NPO 及び美濃市では事前申込み制で定員 30 名を予定していましたが、今回事前予約なしを含めて 35 名の方がセミナーに参加いただきました。

セミナーの開始の挨拶を 2~3 分程度 NPO の事務局長が話された後、美濃市都市建設課の職員からの挨拶で美濃市の現状について「2 週間に一回のペースで危険空き家の相談がある」「都市部から空き家に住みたい要望があるにも関わらず貸せる物件がない・貸せない状況」との話がありました。

その後、名和さんの講演が始まりました。講演についてはプロジェクターを使用し、参加者に受付にて渡した講演資料に添って講演を行うといういつもの流れで講演を進めました。途中退席される方がいなく、多少名和さんの冗談話も入り会場の雰囲気は和やかな状態のなかで講演は進行していきました。13：30~14：30 講演時間・14：30~15：00 質疑応答時間を予定してまして、ほぼ 14：30 に講演が終了し 14：30 から順調に質疑応答時間に進む事ができました。質疑応答時間に入った最初は参加者同士が様子伺いをして多少の空白の時間がありましたが、名和さんが相談例の案件をいくつか発表していると参加者が徐々に質問されてくるといった状況になり、今回のセミナーの資料に該当する相談内容については、講演中に使用した資料を再度利用しプロジェクターでも映して相談案件に応えるといった様な手法で質疑応答を行った。15:00 にセミナーは終了したが個人的に質疑を希望されている方がいた為に、実質 15：30 位までセミナーが続いた状況でありました。

余談であります。18 日（土）岐阜市の空き家セミナーに相談者としてお越しいただいた方が、関市在住の姉を伴い今回の空き家セミナーに参加いただきました。

## <感想>

今回のセミナーの市民への勧誘アプローチとして、市広報・回覧板・NPO 美濃のすまいづくりホームページ・道の駅にチラシ配布の手法にて行ったそうで、なかには道の駅での配布チラシを見た方で美濃加茂市からセミナーに参加いただいた方もいたとの事です。道の駅とは思ってもよらない発想で次回どこかで開催する際にはその様な公共の不特定多数の方が利用する施設も使えるアイデアを頂いたと思います。

私としては、市広報が2月1日配布で開催日の25日まで期間があり過ぎる事や、回覧板での効果について疑いを抱いていてかつ、18日(土)岐阜市でのセミナー出席者人数から考え美濃市のセミナー出席者は10人位なのかと予測していました。しかし実際には事前申込み人数を上回った結果となり美濃市では空き家に関心を持たれている方及び悩まれている方が、岐阜市より圧倒的に人口少ないにも関わらず、参加者人数が多かった事より比較的多い地域なのかと考えました。

また、NPOの方々が参加者に紙コップでの提供ではありますがお茶若しくはコーヒーと少しのお菓子を配られたおかげで、カフェスタイルではないですが何となくリラックスしてお茶しながらセミナーを拝聴する感覚になり、和んだ雰囲気での講演となったのもよい演出ではないかと思いました。

報告者：村井裕之（美濃市空家等対策計画策定委員・NPO所属・空き家相談士）

以上